

Setagaya Philharmonic
世田谷フィル

第61回定期演奏会

モーツァルト
ヴァイオリン協奏曲第5番
イ長調「トルコ風」*

Wolfgang Amadeus Mozart Violin Concerto No.5 in A major, K.219

マーラー
交響曲第9番 ニ長調

Gustav Mahler Symphony No.9

指揮 黒岩 英臣 ヴァイオリン* 小川 恭子

2023年10月22日(日)
昭和女子大学人見記念講堂

世田谷フィルハーモニー管弦楽団

午後1時45分開演(1時開場)

全席自由 1,500円(当日券あり) 9月8日(金) チケット発売

■お問合せ先

世田谷フィルハーモニー管弦楽団事務局 080-4335-3518 鈴木
せたがやコール 03-5432-3333 (9月1日から。8時~21時 年中無休)
世田谷区担当課:文化・国際課
世田谷フィル ウェブサイト <https://setagaya-phil.net>

※ 人見記念講堂の駐車場は、お身体のご不自由な方以外はご利用いただけません。ご了承ください。

チケットのお求め先

- 区政情報センター(世田谷区民会館1F)
- 北沢・玉川各総合支所区政情報コーナー
- 烏山区民センター
- 電子チケットサービス「teket」からもご購入できます。
<https://teket.jp/987/25415> QRコードからもアクセスできます。



主催 世田谷フィルハーモニー管弦楽団 後援 世田谷区・世田谷区教育委員会 協力 (公財)せたがや文化財団 音楽事業部

🎵 曲目のご案内

グスタフ・マーラー(1860-1911)が亡くなる前の年に完成した交響曲第9番を、世田谷フィルの音楽監督、黒岩英臣さんの指揮で聴いていただきます。晩年のマーラーは、ユダヤ人排斥の風潮からウィーン宮廷歌劇場の職を追われ、長女を病気で亡くし、妻の浮気に悩み、自身の心臓病に苦しむという苦

境に立たされていました。そのためか、作品には死の影が色濃く漂っています。もう一曲は、マーラーが生涯にわたって敬愛してやまなかったモーツァルトの作品、ヴァイオリン協奏曲第5番。独奏は、地元世田谷区の山野小学校、砧中学校を卒業された新進気鋭の小川恭子さんです。

🎵 黒岩 英臣(くろいわ ひでおみ) 指揮



1942年東京生まれ。1960年桐朋学園大学指揮科に入学し、故斎藤秀雄氏に師事。1964年、同大学弦楽オーケストラのアメリカ公演に指揮者として同行。1965年同大学卒業後に修道士となり、1975年まで修道生活を送った。その間、神学、哲学、ラテン語、グレゴリオ聖歌、ポリフォニーを学び、典礼音楽の指揮、作曲を行った。1976年より再び音楽に専念し、1977年東京都交響楽団ファミリーコンサートを指揮し、「久方ぶりに現れた、優れた資質をしかと感じさせる新人」と絶賛され、一躍脚光を浴びた。

以来、全国の主要オーケストラに数多く出演し、安定した評価を得ている。自らが敬虔なキリスト教徒ということから、宗教音楽に造詣が深く、情熱的な音楽創りが評価されており、オラトリオ、レクイエム、ミサ曲等での名演を重ねている。1981年から1988年まで九州交響楽団常任指揮者、1985年から1989年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、1988年から1994年まで関西フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者を務めた。2001年より山形交響楽団常任指揮者を務め、2004年同団名誉指揮者に就任、現在に至る。1978年より2016年まで桐朋学園大学にて教鞭を執り、多くの著名な指揮者を育て上げた。

🎵 小川 恭子(おがわ きょうこ) ヴァイオリン



日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)、全部門を通じて最も印象的な奏者に贈られる増沢賞等受賞。ノヴォシビルスク国際コンクール(ロシア)、スウェーデン国際デュオコンクール等で優勝、シュポア国際コンクール(ドイツ)第2位ほか受賞多数。内外のオーケストラと共演のほか、各地で演奏活動を行う。ドイツで演奏した際には英国音楽誌「TheStrad」より好評を得る。NHK-FM

や日本製鉄文化財団主催「紀尾井 明日への扉」等に出演、NHK・Eテレ「青のオーケストラ」で演奏吹替をつとめる。桐朋学園大学を首席で卒業後、修士修了。辰巳明子氏に師事。推薦を受けて英国王立音楽院に短期留学しジョルジュ・パウク氏に、スイスのアカデミーでザハール・ブロン氏より指導を受ける。明治安田QOL文化財団海外研修生としてウィーン国立音楽大学に留学しローター・シュトラウス氏に師事。文京楽器の協力でBear's International SocietyよりG.Cappaを貸与される。

🎵 世田谷フィルハーモニー管弦楽団

世田谷フィルハーモニー管弦楽団は、作曲家、故芥川也寸志氏の「世田谷区民によるアマチュアオーケストラを」という呼びかけにこたえて、1989年3月、さまざまな職業の音楽愛好家によって結成された。世田谷区の厚い支援を受け、同年12月に「せたがや区民による第九コンサート」で初演奏を披露。その後は、毎年2回の定期演奏会を開催するほか、世田谷区民合唱団とともに「せたがや名曲コンサート」にも出演。また、ヴェルディ「椿姫」やプッチーニ「ラ・ボエーム」、チャイコフ

スキー「くるみ割り人形」など、オペラやバレエにも挑んでいる。近年採り上げた主な曲目は以下の通り。ブラームス「交響曲第2番」、チャイコフスキー「交響曲第5番」、サン＝サーンス「交響曲第3番《オルガン付き》」、モーツァルト「交響曲第41番《ジュピター》」、ドヴォルザーク「交響曲第8番」、バルトーク「管弦楽のための協奏曲」、ブラームス「ヴァイオリン協奏曲」、モーツァルト「レクイエム」、武満徹「弦楽のためのレクイエム」など。

新型コロナウイルス感染防止のため
ご協力をお願いします。

- ・家を出る前に検温をお願いします。37.5℃以上の場合は、来場をご遠慮ください。
- ・会場内ではマスクを着用することをお勧めします。
- ・会場内での出演者との面会をご遠慮ください。また花束や贈り物は辞退いたします。
- ・ご声援は、声を出さずに拍手でお願いいたします。

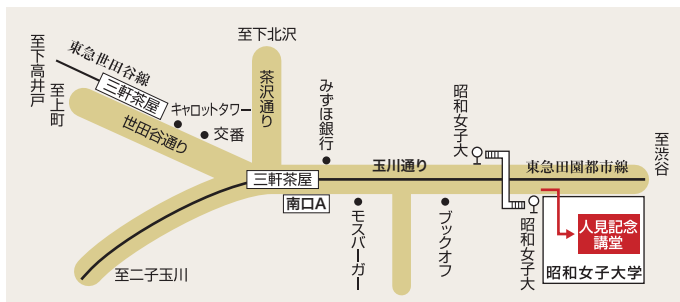
これからの演奏会

■ セたがや名曲コンサート

2024年2月18日(日)午後2時開演
昭和女子大学人見記念講堂
ベートーヴェン バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲
ベートーヴェン 交響曲第9番 二短調「合唱付き」
指揮 尾高 忠明

■ 世田谷フィル第62回定期演奏会

2024年6月23日(日)午後2時開演
昭和女子大学人見記念講堂
指揮 井田 勝大
曲目 未定



交通のご案内

- 東急田園都市線 三軒茶屋駅 南口A出口 徒歩8分
- 東急世田谷線 三軒茶屋駅 徒歩10分
- 東急バス/小田急バス 昭和女子大 徒歩1分

人見記念講堂の駐車場は、お身体のご不自由な方以外はご利用いただけません。ご了承ください。